

# 宮沢和史さん講演会

## “島唄”に込めた想い

～悲惨な沖縄戦を伝えたくて～

### 宮沢和史さん

1989年にTHE BOOMのボーカリストとしてデビュー。

2014年THE BOOM解散後、しばらく充電期間を持ち、2018年より歌手活動を再開。

2022年は代表曲「島唄」を発表して30年・沖縄の日本復帰50年にあたり沖縄と日本本土で精力的に音楽活動を展開。

「島唄」はアルゼンチンの音楽賞を3部門受賞し、今なお広い地域で愛されている。現在、沖縄芸術大学で非常勤講師を務める。

2026年  
2月17日(火)

午後6時～8時  
(午後5時30分開場)

枚方市総合文化芸術センター  
関西医大 小ホール

京阪枚方市駅下車 徒歩5分

※ 駐車場(有料)には限りがあります。  
公共交通機関のご利用を。

無料

先着300人  
要申込

#### 第1部 (午後6時～6時30分) 平和学習の発表

枚方市の小学校では修学旅行で広島へ行き、平和への想いを学んでいます。今年は、蹠跣小の児童が合唱で、藤阪小の児童が動画で平和学習の取組発表をします。小ホールホワイエでは、東香里中の生徒が制作した平和新聞や、蹠跣小の児童が制作した平和学習ポスターを展示します。

#### 第2部 (午後6時30分～8時) 宮沢和史さん講演・演奏

1992年に発表した代表曲「島唄」。この名曲の歌詞に描かれた、サトウキビ畑での男女の出会いと別れ。この歌詞の裏に込められた沖縄戦の悲惨さと平和への願いについてお話しいたします。

申込  
問合せ

1月14日(水) 午前9時から右記コード・市ホームページにある専用フォームで申し込み。

インターネット環境がない方等は電話申し込み可。

手話通訳・要約筆記・保育(生後6カ月以上の未就学児で先着5人)は2月3日(火)までに要申し込み。

枚方市人権政策課 電話:072-841-1259 FAX:072-841-1700



申し込み専用フォーム



枚方市は、禁野火薬庫が大爆発した日から50年後、そして1954(昭和29)年に第五福竜丸がビキニ環礁での水爆実験で被ばくした日から35年後の1989(平成元)年、3月1日を「枚方市平和の日」に制定しました。市民一人ひとりが平和の大切さを考える日として、毎年、平和の日記念事業を開催しています。



平和の日記念事業  
ホームページ

## 禁野火薬庫大爆発 パネル展

ステーションヒル枚方5階  
生涯学習交流センター 展示スペース  
(枚方市駅東改札口東側)

2月14日(土)～28日(土)

午前9時～午後9時

禁野火薬庫は終戦まで枚方にあった旧陸軍の施設。昭和14年の爆発当時の状況など貴重な記録写真のパネルを展示します。無料。



①火薬庫内部の様子(武沢惣次郎氏提供)

## あかり 平和の燈火

ニッパーク岡東中央  
(枚方市駅南口徒歩約3分)

3月1日(日) ※雨天の場合、翌日

キャンドル点灯 午後5時30分～7時30分

平和の願いを込め、約3000個のキャンドルを来場者の皆さんと一緒に灯します。日中は、実行委員の学生による企画も。無料。

戦争の悲惨さ、  
平和の尊さを忘れないために。

3月1日は、  
枚方市平和の日

## 昭和14年3月1日 午後2時45分 禁野火薬庫大爆発

砲弾解体作業中に発火、大爆発が起こり、午後7時までに29回の爆発を繰り返しました。火災がおさまったのは爆発から2日後の3月3日正午。死者94人、負傷者602人、全半壊した家屋821戸におよぶ大惨事となりました。



②爆発後の火薬庫一帯(橋寺七郎氏撮影)  
(①② 市文化財課提供)



平和の鐘  
「ヒラリオン」

